

第3期 pES club EBM 実践大会の進め方

平成 16 年 12 月 1 日

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

sulzburger@amy.hi-ho.ne.jp

【目的】

pES club 卒業後、勉強会などを主導できるようになること。

【課題】

1人1つのテーマを選び、参加者全員を対象にチュートリアルを行う。

【事前準備】

以下の手順に従って、準備を進めること。

1. 自分の臨床上の疑問が生じた状況をシナリオにする。シナリオは実習で担当した症例でも良いし、自分自身や身の周りの人に関するものでも良い。
2. シナリオから PECO を立てる。
立てる疑問のカテゴリーは、治療・予防、予後、病因、診断のいずれかより選ぶ。
3. 立てた PECO に基づいて検索を行い、論文を見つける。
ただし、採用する論文は、ランダム化比較試験、システマティック・レビュー、コホート研究、横断研究（診断）に限る。
PubMed を使って原著論文を直接検索しても良いし、The Cochrane Library, Clinical Evidence, UpToDate などといった二次資料を検索して、そこに挙げられていた原著論文を選んで良い。
4. チェックシート（はじめてシート）を用いて、当日までに、選択した論文を批判的吟味する。
最新版のはじめてシートは、The SPELL (<http://spell.umin.jp>) の資料集の項からダウンロードする。各研究デザインに相当するはじめてシートを使用する。

【当日】

1. 自作したシナリオ、選んだ論文、各項目が埋まったはじめてシート（CAT シート）の3点を、参加人数分コピーして持参する。
2. 当日決められた順に、自分の選んだ題材について、EBM の5つの step に従い SGD をチューティングする。SGD は1時間以内に終了させること。

なお、準備の方法がよく分からない、ヒントが欲しい、途中でチェックして欲しい場合などは、その都度、南郷に個人的にメールすること。